

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 旭川中央ケアサポート 安心コールセンター

(第4回) 介護・医療連携推進会議議事録

日時 平成29年5月16日 (火) 13時30分～15時00分

場所 旭川中央ケアサポート かりのすまい東光 1階研修室

出席者

事業所	福祉介護事業部長	柏葉 美香
	福祉介護事業課長	遠藤 康敏
	看護師	大谷 清加
医療関係者	旭川医科大学	板東 利枝 様
旭川市職員	福祉保健部介護高齢課	主幹 石井 学 様 (欠席)
地域住民代表	民生委員	野村 様 (欠席)

議題

事業所より報告

1. 利用状況の現状
 - (1) サービスについての経過報告 (事例)
 - (2) 今後サービスについての抱負
 - (3) 次回開催予定
 - (4) 意見交換

会議一部より 抜粋

(板東利枝 様)

医療と介護、各事業の連携はどう行っているのか？

(柏葉部長)

各事業、現場での連携は、主に「連絡ノート」などが活用されているのが現状です。

(板東利枝 様)

将来的に医療と介護が繋がり、連携を上手く取る為には、今で言う「クラウド」のような様々な環境からでもデータを閲覧し、共有するグループウェアのようなものが必要になる時代が来るのでは。

また、それぞれが質を高める必要もあるのでは。研修はどうしているのですか？

(柏葉部長)

研修について、当事業所は、年間計画を立て毎月行っている。

(板東利枝 様)

病院に居る認定看護師には各分野（褥瘡・ストマー管理・腸マッサージ・認知症）などの看護師が居て、その看護師にも年間を通して研修を行ったという実績が必要。試してみてもは。

また、若年性認知症の方など最近増えていて、そのような様々な当事者から話を聞き学ぶのも研修として一つの例です。

ひとつの繋がりが、他へと繋がるきっかけになるのでは・・・。

※介護ロボ 説明と紹介

